

## 平成27年度 第1回藤沢市介護保険運営協議会

日 時：2015年（平成27年）5月28日（木）  
午後2時00分から

会 場：藤沢市民会館 第2会議室

- 1 開 会
- 2 委嘱状の交付
- 3 福祉部長あいさつ
- 4 委員自己紹介
- 5 正副会長の選出

委員からの推薦により、

会長 木原委員（医師会からの推薦委員）

副会長 瓜生委員（歯科医師会からの推薦委員）に決定した。

- 6 議題

### <公開議題>

#### （1）介護保険運営協議会の役割について

- ・事務局から【資料1】について説明。
- ・委 員：国の方針として地域包括支援センターの機能強化が打ち出されていて運営協議会の活性化もその一つだが、どのように行うのか？
- ・事務局：各地域包括支援センターからの自己評価提出・市との面談をもとに、毎年度の評価を決定している。26年度の評価を今年度第2回運営協議会で報告する予定である。

- ・委員：報告を受けるだけか？国ではPDCAサイクルとして運営協議会の活性化が位置づけられているはずだが。
- ・事務局：これまでは本市の運営協議会では行ってこなかった。これから検討していきたい。
- ・委員：他市の介護保険運営協議会では、委員を数人ずつブロックに分け各ブロックの地域包括支援センターと話し合いの場を持ちその内容を全体で共有するやり方があった。地域の特性を感じることができて良かった。また、運営協議会の場に地域包括支援センターが出席することもあった。
- ・委員：地域包括支援センターとしては、地域ケア会議等の機会を通して、「地域に出て行く」ことを重視したい。

(2) 介護保険制度について、平成26年度藤沢市介護保険事業の実施状況について

- ・事務局から【資料2】について説明。

(3) 地域包括支援センターの概要について、平成26年度地域包括支援センター活動報告

- ・事務局から【資料3】について説明。
- ・委員：相談者内訳に医療機関という項目があるが、医師会・薬剤師会・歯科医師会に分けた内訳を知りたい。
- ・事務局：三師会の個別の件数は取っていないが、今後取っていききたい。件数の大小では、その3種類では医師会からの相談が最も多い。また、三師会関係では、地域包括支援センターの紹介冊子を薬局におかせていただく等の協力を得ている。
- ・委員：見守りの役割を持つ民生委員から地域包括支援センターへケース

を引き継ぐことがある。この場合、引き継いだ後の情報が得られないという問題意識が民生委員間であがっている。地域包括支援センターと民生委員で月に一回程度の話し合いの場などは持てないだろうか。

- ・委員：各地域包括支援センターによって違いはあるが、地域包括支援センターから民生委員に対して、長期入院で留守にしているケースなどの情報提供を行ったり、月に一度の民生委員定例会に出席したりしている。顔の見える関係の中で事例や情報共有の機会をもっと持つことで、相談や連携の体制につなげていきたい。
- ・委員：国の考える地域包括支援センター機能強化の中では、取り組みに関する情報公表もあげられているが、市民に対してその役割をどのように周知・公表していくのか？
- ・事務局：啓発については引き続きリーフレットを用いて行っている。公表については未着手であり、今後考えていきたい。

(4) 予防給付に係るマネジメント業務の委託可能な居宅介護支援事業者の承認について

- ・事務局から【資料4】について説明。
- ・委員一同：承認する。

(5) 地域密着型サービス事業者等の公募状況について

- ・事務局から【いきいき長寿プランふじさわ 2017（第6期藤沢市介護保険事業計画）概要版】および【資料5】について説明。

(6) その他

- ・委員から日本歯科医師会発行の資料配布
- ・事務局から藤沢型地域包括ケアシステムについて説明。

- ・委員：介護予防の位置づけについて、これからは高齢者が要介護状態になる前に行う取り組みが非常に重要だと感じる。配付資料を見ると、「地域支援事業の進捗状況」がこれに相当するようだが、件数・予算に占める割合ともに低く、23年度の介護予防事業の計画数や予算割合と比べて縮小している。介護保険制度の中での施設整備等も重要だが、その前の段階で元気な高齢者を作るという方向の施策に力を入れていく必要があると思う。
- ・事務局：健康増進計画に沿って進めているところである。

〈非公開議題〉

(6) 地域密着型サービス事業者等の指定状況について

7 閉 会